

「千葉国際芸術祭 2028（仮称）」の総合ディレクターを決定しました

千葉市では、「千葉国際芸術祭 2028（仮称）」の開催に向け、本日開催された千葉国際芸術祭実行委員会第8回総会において、総合ディレクターを決定しましたので、お知らせします。

1 総合ディレクターについて

なかむら まさと
中村 政人 氏

- ・アーティスト／東京藝術大学美術学部絵画科教授・芸術未来研究場 アート×ビジネス領域長
- ・東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻壁画修了
- ・大韓民国弘益大学大学院西洋画修士課程
- ・「アート×コミュニティ×産業」の新たな繋がりを生み出すアートプロジェクトを進める社会派アーティスト
- ・「ヒミング」（富山県氷見市）、「ゼロタテ」（秋田県大館市）など、地域再生型のサステナブルアートプロジェクトを多数展開
- ・2010～2023 年、公設民営のアートセンター「アーツ千代田 3331」（東京都千代田区）を運営
- ・2021 年から国際芸術祭「東京ビエンナーレ」を立ち上げた
- ・千葉国際芸術祭 2025 の総合ディレクター



中村 政人 氏

2 総合ディレクター選考経緯

千葉国際芸術祭実行委員会部会において、総合ディレクター候補者を選定し、本日開催された千葉国際芸術祭実行委員会総会において、総合ディレクターとして中村政人氏を決定しました。

3 選考理由

中村氏は、文化芸術分野における豊富な知識と実績を有するとともに、千葉国際芸術祭 2025 において総合ディレクターとして芸術祭全体を統括し、市民、地域団体、企業、教育機関等との連携・協働のもと、市内各所で多彩な文化芸術プログラムを展開するなど、本市の文化芸術の振興に成果を挙げました。

また、千葉国際芸術祭 2025 を通じて、本市の特性や地域課題への理解を深めており、これまでの経験や知見を生かし、成果を継承するとともに、広報、人材育成、参加機会の拡大等の課題の改善を図りながら、次期芸術祭をさらに充実・発展させることが期待できます。

<参考>

1 千葉国際芸術祭について

「新たな文化の創造と魅力の発信」「地域への関心や関わりの醸成」「多様な主体の尊重と繋がり創出」を目的とし、千葉市を舞台に開催する芸術祭です。

○開催実績

令和3年度 千の葉の芸術祭開催

令和5年度～令和7年度 千葉国際芸術祭 2025 開催（本会期 令和7年度）

2 千葉国際芸術祭実行委員会について

千葉市、企業、団体など本市に関わるさまざまな主体が協働し、その英知を結集し、総力をあげて取り組んでいくために、令和5年3月30日に千葉国際芸術祭実行委員会を設立しました。

○千葉国際芸術祭実行委員会委員

千葉市、千葉商工会議所、千葉市文化連盟、公益財団法人千葉市文化振興財団、公益財団法人千葉市教育振興財団、千葉市美術館、公益社団法人千葉市観光協会、千葉テレビ放送株式会社、株式会社千葉日報社、日本放送協会千葉放送局、千葉都市モノレール株式会社、国立大学法人千葉大学、株式会社千葉銀行、東日本旅客鉄道株式会社千葉事業本部（順不同）

3 市ホームページ（千葉国際芸術祭）

【URL】<https://www.city.chiba.jp/shimin/seikatsubunka/bunka/chibakokusaigeizyutusiai.html>

